

令和3年度 DX推進計画 実施状況確認総括表

【基本方針Ⅰ】 ICT利活用による市民サービスの向上		R3	R4	R5	R6	R7
(1)電子申請の促進	行政経営グループ	実施中				
(2)公共施設の予約システムの導入	行政経営グループ	検討				
(3)キャッシュレス決済の導入	行政経営グループ	検討				
(4)マイナンバーカードの普及・促進	総務グループ、市民サービスグループ	実施中				
(5)市公式ウェブサイト、SNSによる情報発信の見直し	秘書広報グループ	実施中				
(6)総合窓口の設置の検討	行政経営グループ	検討				
(7)ICT-BCPの策定	行政経営グループ	検討				
【基本方針Ⅱ】 地域情報化のさらなる推進		R3	R4	R5	R6	R7
(1)図書館サービスの充実	図書館	実施中				
(2)ICTを活用した教育の推進	学校教育グループ	実施中				
(3)校務支援システムの導入	学校教育グループ	実施中				
(4)ワーケーションの推進	企画調整グループ	実施中				
(5)SNS等を活用したまちの魅力発信	まちづくりグループ、観光振興グループ	実施中				
(6)デジタルデバイド対策	行政経営グループ	検討				
(7)オープンデータの利用促進	行政経営グループ	実施中				
【基本方針Ⅲ】 行政内部の情報化の加速		R3	R4	R5	R6	R7
(1)庁内事務の電子決裁化	総務グループ、会計グループ	実施中				
(2)ペーパーレス化の推進	総務グループ、行政経営グループ	実施中				
(3)契約事務の効率化・電子入札制度の導入の検討	契約・管財グループ	検討				
(4)ICTを有効活用したBPRの推進	行政経営グループ	検討				
(5)リモート会議環境の整備・活用	行政経営グループ	実施中				
(6)庁内ネットワークの無線化	行政経営グループ	実施中				
(7)職員のテレワーク環境の整備及びモバイルワークの検討	人事グループ、行政経営グループ	実施中				
(8)チャットツールの整備	行政経営グループ	実施中				
(9)自治体情報システムの標準化・共通化	行政経営グループ	検討				
(10)EBPM導入の検討	行政経営グループ	検討				
(11)セキュリティの確保	行政経営グループ	実施中				
(12)クラウド利用の促進	行政経営グループ	実施中				
(13)デジタル人材の確保	行政経営グループ	実施中				

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅰ】
ICT活用による市民サービスの向上

実施項目	(1) 電子申請の促進					
担当部署	行政経営グループ					
取組内容	行政手続きやイベント等の申請・受付について、電子申請による申請・受付を推進するため、「ぴったりサービス」をはじめ、電子申請の手続環境を整備します。					
実施年度	令和3年度～			実施区分	実施中	
実施状況【R3】	ぴったりサービスを運用するにあたり、必要となる設定や申請者側の回答フォーム等を調査した。 また、「登別市公共施設持続化・感染リスク対策支援金」にてぴったりサービスを利用して各指定管理者より申請を受けた。					
今後の取組【R4～】	自治体専用デジタル化総合プラットフォーム「LoGoフォーム」を導入し、各イベント等の申請の電子化を図る。 また、国より提示された各標準様式を用いて行政手続の電子化を進めるにあたり、各担当課と調整し、子育て・介護等に係る各手続の申請フォームを整備する。					
成果指標	指標名	ぴったりサービス対象業務数		行革連動	単位	個
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	目標	15	35	35	35	35
	実績	1				

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅰ】
ICT活用による市民サービスの向上

実施項目	(2) 公共施設の予約システムの導入					
担当部署	行政経営グループ					
取組内容	公共施設の利用予約について、従来の予約方法に加え、パソコンやスマートフォン等の電子媒体を活用し、オンラインにより施設予約が可能な仕組みを導入します。					
実施年度	令和4年度～	実施区分	検討			
実施状況【R3】	公共施設の予約に係るサービスの調査・検討を実施し、各施設所管グループにおいて、デモ環境を用いた操作性の確認・検証を行った。					
今後の取組【R4～】	導入スケジュール等を調整し、対象システムの導入を行う。 また、導入後各施設の予約フォームの整備を実施し、各指定管理者へ運用に向けたマニュアルの配布等を行い、令和4年度中にサービス開始を目指す。					
成果指標	指標名	施設予約管理システム利用率	行革連動	単位	%	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	目標	-	20	25	30	35
	実績	-				

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅰ】
ICT活用による市民サービスの向上

実施項目	(3) キャッシュレス決済の導入						
担当部署	行政経営グループ						
取組内容	現金のみで収受している証明書等手数料について、多様な支払い方法を確立し、現金の接触機会を低減させることで、市民の利便性向上及び新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減を図ります。						
実施年度	令和4年度～	実施区分		検討			
実施状況【R3】	キャッシュレス決済の導入にあたり、他市の事例や導入に向けたシステムの調査等を実施した。						
今後の取組【R4～】	令和4年度中に事業者の選定を行い、市民サービスG、税務グループ及び各支所にてキャッシュレス端末を導入する。						
成果指標	指標名	市民窓口におけるキャッシュレス決済利用率			行革連動	単位	%
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	-	1.5	4.0	6.0	8.0	
	実績	-					

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅰ】
ICT利活用による市民サービスの向上

実施項目	(4) マイナンバーカードの普及・促進							
担当部署	総務グループ、市民サービスグループ							
取組内容	マイナンバーカードの普及促進を図るとともに、国の施策によりマイナンバーカードが導入される各種制度について情報収集するとともに、利用者に対し周知啓発を図ります。また、オンライン申請の拡充を図ります。							
実施年度	令和3年度～	実施区分		実施中				
実施状況【R3】	随時、市広報紙や市公式ウェブサイト等を通じて、マイナンバーカードやマイナポイントについての周知を行うとともに、市役所本庁及び各支所での申請サポート、市主催の行事とのタイアップによる出張申請受付を行い、マイナンバーカードの普及・促進を図った。							
今後の取組【R4～】	マイナポイントの付与対象となるマイナンバーカードの申請期限を念頭に、市広報紙や市公式ウェブサイト等による周知、市役所本庁及び各支所での申請サポートのほか、市内各所で出張申請受付を行い、マイナンバーカードの普及・促進を図る。							
成果指標	指標名	市民のマイナンバーカードの交付率			行革連動	○	単位	%
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	目標	29.0	32.0	35.0	38.0	41.0		
	実績	41.5						

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅰ】
ICT利活用による市民サービスの向上

実施項目	(5) 市公式ウェブサイト、SNSによる情報発信の見直し							
担当部署	秘書広報グループ							
取組内容	ICTを活用した市民への各種情報発信の手段として、市公式ウェブサイト、市Facebookに加え、LINEなどのSNSを有効活用し、積極的な市政情報を発信します。							
実施年度	令和3年度～	実施区分		実施中				
実施状況【R3】	子育て支援センターにLINEの友だち登録勧奨ポスターを設置するなどして、登録者数の増加を図りました。							
今後の取組【R4～】	LINEにセグメント配信機能やチャットボット機能などを搭載し、個々のニーズに合った情報の発信などを行うことにより、登録者数の増加・ブロック数の減少を図ります。 また、今後も各SNSの登録者数の増加を図りながら、市広報紙とSNSの情報発信の差別化について検討を進めます。							
成果指標	指標名	SNSの登録者数等			行革連動	○	単位	件
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	目標	4,000	5,000	6,000	7,000	8,000		
	実績	4,764						

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅰ】
ICT利活用による市民サービスの向上

実施項目	(6) 総合窓口の設置の検討							
担当部署	行政経営グループ							
取組内容	戸籍や税、健康保険や福祉などに関する各種手続をワンストップで受ける総合窓口の設置、各種申請手続きのワンストップ化について調査・研究を行い、新庁舎の建設に向けてICTを活用した窓口のあり方について検討を進めます。また、本取組の庁内の推進体制についても、併せて検討します。							
実施年度	令和7年度～	実施区分		検討				
実施状況【R3】	総合窓口設置に向けた検討を、より具体的に進めるため、総合窓口を運営する上で職員を補助する仕組みにもなる「書かない窓口」の導入を目指すこととし、「デジタル田園都市国家構想推進交付金」の申請を行った。							
今後の取組【R4～】	「デジタル田園都市国家構想推進交付金」の採択を受け、令和4年度中の「書かない窓口」の導入を行う。 窓口の改善を行いながら、新庁舎における総合窓口のあり方の検討を深める。							
成果指標	指標名	-			行革連動	○	単位	-
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	目標	-	-	-	-	-		
	実績	-						

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅰ】
ICT利活用による市民サービスの向上

実施項目	(7) ICT-BCPの策定					
担当部署	行政経営グループ					
取組内容	業務の実施に必要な情報システムの確保、情報システムやネットワークの復旧手順等に係るICT部門の業務継続計画を整備します。					
実施年度	令和4年度～			実施区分	検討	
実施状況【R3】	他自治体のICT-BCPや津波浸水予測の更新を勘案しながら、ICT-BCPの策定案を定期更新し、精度の向上に努めた。					
今後の取組【R4～】	国や道の方向性や指針に基づき、令和4年度中にICT-BCPの策定案を作成し、令和5年度からの施行を目指す。					
成果指標	指標名	庁内ネットワークに係る重大障害件数		行革連動	単位	件
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	目標	-	0	0	0	0
	実績	-				

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅱ】 地域情報化のさらなる推進

実施項目	(1) 図書館サービスの充実						
担当部署	図書館						
取組内容	ネット予約サービスや電子図書の積極的な利用を促すことと併せて電子書籍の充実を図るほか、市が保有している資料のデジタルアーカイブに取り組みます。						
実施年度	令和3年度～			実施区分	実施中		
実施状況【R3】	Web予約サービスは従前より取り組んでおり一定程度定着しているものと考えているが、コロナ禍による臨時休館の影響を受け利用数は減少した。 電子書籍については、コストを勘案しながら順次追加購入を検討しているところである。 また、資料のデジタル化については、昭和40年代～平成9年の市勢要覧のスキニングまでを完了している。						
今後の取組【R4～】	引き続き電子書籍の充実に努め、電子書籍の利用促進に繋げていく。 また、デジタルアーカイブについてはデータ作成が完了した資料から順次公開を進めていく。						
成果指標	指標名	web予約数			行革連動	単位	件
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	7,600	7,700	7,800	7,900	8,000	
	実績	7,118					

D X 推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅱ】
地域情報化のさらなる推進

実施項目	(2) ICTを活用した教育の推進							
担当部署	学校教育グループ							
取組内容	児童生徒に対し、1人1台の端末を貸与するとともに、高速大容量通信ネットワークの整備を進め、オンラインによる授業やデジタル教科書、デジタル教材や独自教材（動画等）の活用など、ICTを活用した教育の推進を図ります。							
実施年度	令和3年度～			実施区分	実施中			
実施状況【R3】	情報通信機器の授業・校務における積極的な活用や、指導者用デジタル教科書の導入により、児童生徒の学びの充実や教職員の負担を軽減するなど、情報教育の推進及び校務の効率化を図った。							
今後の取組【R4～】	引き続き、情報通信機器の授業・校務における積極的な活用や、指導者用デジタル教科書を導入し、ICTを活用した教育の推進を図る。							
成果指標	指標名	デジタルコンテンツ（デジタル教科書及び独自の教材）活用数			行革連動	○	単位	数
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	目標	10	10	12	12	14		
	実績	8						

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅱ】

地域情報化のさらなる推進

実施項目	(3) 校務支援システムの導入						
担当部署	学校教育グループ						
取組内容	教職員が校務で作成する書類や資料を統合管理・運用することができる校務支援システムを導入することにより、教職員の業務を軽減し、子どもと向き合う時間を増やし、きめ細かな指導につなげます。						
実施年度	令和3年度～	実施区分	実施中				
実施状況【R3】	教職員が行う校務の効率化を図るため、校務支援システムの契約など導入準備を進めた。						
今後の取組【R4～】	校務支援システムを本格的に導入し、教職員の負担軽減を図る。						
成果指標	指標名	市立小・中学校における校務支援システム導入割合			行革連動	単位	%
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	-	100	100	100	100	
	実績	-					

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅱ】

地域情報化のさらなる推進

実施項目	(4) ワークーションの推進						
担当部署	企画調整グループ						
取組内容	テレワーク環境の整備を行うとともに市内の施設を活用してワークーション等を推進します。						
実施年度	令和3年度～			実施区分	実施中		
実施状況【R3】	日本工学院北海道専門学校や登別温泉地区の栗林ビル（移住体験用の宿泊施設）、カルルス温泉地区のオロフレ荘・鈴木旅館・山静館、登別駅前のゲストハウス赤と青において、Wi-Fi環境や机・テーブルなどの環境整備を行った。また、令和3年度においては、モニターツアーを実施し、企業から個人まで23件38名の方に参加いただき、ツアー内容や執務環境などについて意見をいただいた。						
今後の取組【R4～】	令和3年度に策定した「登別市ワークーション推進ビジョン」に基づき、登別オリジナルの企業研修型ワークーションスタイルを構築することを目的とし、研修プログラムの企画・運営や受入環境整備を進める。また、本事業と日本工学院北海道専門学校サテライトオフィス「en」への企業誘致の取組を連動させ、関係人口や定住人口の増加、市内経済の活性化に繋げていく。						
成果指標	指標名	ツアーの参加件数 ※モニターツアー含む			行革連動	単位	件
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	15	10	10	10	10	
	実績	23					

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅱ】
地域情報化のさらなる推進

実施項目	(5) SNS等を活用したまちの魅力発信						
担当部署	商工労政グループ、観光振興グループ						
取組内容	観光客のニーズに応じて、飲食店やホテル・旅館、体験メニュー、景勝地など、あらゆる情報を発信するため、登別駅前に整備を進めている（仮称）登別市情報発信拠点施設「ヌプル」のほか、登別ブランド推進協議会や登別国際観光コンベンション協会など、民間団体等の活力を活用しながら、SNS等を通じて登別の魅力ある情報を発信します。						
実施年度	令和3年度～	実施区分		実施中			
実施状況【R3】	SNSを通じ、登別ブランド推奨品や、登別市のイベント情報、観光スポットなど様々な魅力発信に努めた。特に、コロナ禍において登別への訪問が難しい方に対し、登別の魅力を伝える有効的な手段となったと考える。						
今後の取組【R4～】	引き続き、InstagramおよびFacebookの連携やその他SNSによる情報発信を実施する。 他の発信媒体の導入や利活用も検討する一方で、既存の発信媒体におけるフォロワー数や発信頻度の増加、発信内容の拡充を図る。						
成果指標	指標名	SNS発信媒体数			行革連動	単位	媒体
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	5	6	6	6	6	
	実績	9					

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅱ】

地域情報化のさらなる推進

実施項目	(6) デジタルデバインド対策						
担当部署	行政経営グループ						
取組内容	デジタルデバインド解消に資する取組として、デジタルの活用に不安がある住民に対し、デジタル化から取り残されないようにスマートフォン等の使い方を教える講習会を開催することで、市民の利便性の向上を図ります。						
実施年度	令和4年度～	実施区分	検討				
実施状況【R3】	令和4年度からの実施に向け、講習会取扱事業者の調査を行い、講習会開催に向けカリキュラム等について検討した。						
今後の取組【R4～】	広報誌やホームページにて周知し、年内に8回のスマホ教室の開催を目指す。						
成果指標	指標名	スマホ教室開催回数			行革連動	単位	回
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	-	8	8	8	8	
	実績	-					

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅱ】

地域情報化のさらなる推進

実施項目	(7) オープンデータの利用促進						
担当部署	行政経営グループ						
取組内容	<p>市で有しているデータをインターネット上に公開することで、編集、加工、分析等の各段階を通じて、地域の課題解決や様々な新ビジネスの創出、企業活動の効率化等に繋がるよう利用を促進するほか、公開するオープンデータ数の拡大を検討していきます。</p>						
実施年度	令和3年度～			実施区分	実施中		
実施状況【R3】	<p>オープンデータ公開サイトに提示しているデータの更新を行った。 また、令和3年度をもって既存のオープンデータポータルサイトの利用ができなくなることから、次期のオープンデータプラットフォームへの移行に向け、動作検証等を行った。</p>						
今後の取組【R4～】	<p>オープンデータプラットフォームへのデータの移行を行うことで、継続してオープンデータを利用できるよう努めた。 また、自治体標準データセットが拡充されることに伴い、各担当課への周知・調整を行う。</p>						
成果指標	指標名	公開オープンデータ数			行革連動	単位	個
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	14	14	14	14	14	
	実績	14					

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】 行政内部の情報化の加速

実施項目	(1) 庁内事務の電子決裁化							
担当部署	総務グループ、会計グループ							
取組内容	文書管理・庶務事務システムの導入及び財務会計システムの電子決裁への対応により、庁内事務の電子決裁化を進め、ペーパーレス化と事務効率の向上を図ります。							
実施年度	令和3年度～	実施区分	実施中					
実施状況【R3】	令和3年10月より、文書管理・庶務事務システムを導入するとともに、財務会計システムを電子決裁へ対応可能とした。							
今後の取組【R4～】	さらなるペーパーレス化及び事務の効率化を目指し、引き続き庁内事務の電子決裁率向上に取り組む。							
成果指標	指標名	庁内事務の電子決裁率			行革連動	○	単位	%
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	実績	文書管理・・・96.2 財務会計・・・83.0						

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】

行政内部の情報化の加速

実施項目	(2) ペーパーレス化の推進					
担当部署	総務グループ、行政経営グループ					
取組内容	職員用パソコンを順次ノートパソコンに移行することによる内部の会議資料のペーパーレス化や、庁内グループウェアや複合機のスキャナ機能の活用、電子決裁システムの導入などにより、今後発生する庁内の紙文書を削減するとともに、既存の紙文書の電子化を進めることで 市全体のペーパーレス化をさらに推進します。					
実施年度	令和3年度～	実施区分		実施中		
実施状況【R3】	内部の会議資料のペーパーレス化や、庁内グループウェアや複合機のスキャナ機能の活用、電子決裁システムの導入（令和3年10月～）などにより、既存の紙文書の電子化を推進した。					
今後の取組【R4～】	引き続き、庁内グループウェアや複合機のスキャナ機能の活用促進、電子決裁システムにおける電子決裁率の向上などに取り組み、市全体のペーパーレス化を推進する。					
成果指標	指標名	コピー用紙購入枚数の削減枚数	行革連動	○	単位	万枚
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	目標	94	94	94	94	94
	実績	88				

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】

行政内部の情報化の加速

実施項目	(3) 契約事務の効率化・電子入札制度の導入の検討							
担当部署	契約・管財グループ							
取組内容	契約事務の効率化を図るため、契約事務の電子化の検討を行います。また、入札参加資格申請のオンライン化や電子入札システムの導入についても検討します。							
実施年度	令和7年度～	実施区分		検討				
実施状況【R3】	契約事務の電子化や入札参加資格申請のオンライン化、電子入札システムについて導入事例等を調査した。							
今後の取組【R4～】	引き続き、契約事務の電子化や入札参加資格申請のオンライン化、電子入札システムについて導入事例等を調査する。							
成果指標	指標名	-			行革連動	○	単位	-
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	目標	-	-	-	-	-		
	実績	-						

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】

行政内部の情報化の加速

実施項目	(4) ICTを有効活用したBPRの推進						
担当部署	行政経営グループ						
取組内容	職員の事務負担軽減や業務の効率化が図れるよう、手続等にかかる処理の流れなどについて、BPRの視点を持ちながら見直しを行うほか、RPA、AI-OCRの導入の検討を進めます。						
実施年度	令和4年度～	実施区分	検討				
実施状況【R3】	若年層の職員を対象に、ICT事業者の協力を受けながらDX研修を実施した。RPAやAIなど先端技術を学びながら日々の業務改善に向けた意欲向上につながったと考える。						
今後の取組【R4～】	市民窓口等においてRPAツールを導入し、業務改善につなげる。また、電子申請の活用など担当グループの課題に応じた提案を行い、事務の効率化に向けた技術支援に努めた。						
成果指標	指標名	RPA導入事務数			行革連動	単位	件
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	-	4	4	4	4	
	実績	-					

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】
行政内部の情報化の加速

実施項目	(5) リモート会議環境の整備・活用						
担当部署	行政経営グループ						
取組内容	新型コロナウイルス感染症によりリモート会議の利用が増えていることから、庁内の会議室や執務室において外部や職員同士で実施できるよう整備を行い、リモート会議の促進を図ります。						
実施年度	令和3年度～	実施区分		実施中			
実施状況【R3】	インターネット環境を利用可能な会議室を拡充し、リモート会議の促進を図った。						
今後の取組【R4～】	公用スマホでのテザリング機能を利用可能としたWeb会議用のパソコンを用意し、原則庁舎の全ての部屋でWeb会議を行えるよう整備する。 また、インターネット利用が可能な貸出パソコン等の機器について整理を行うとともに、Web会議用の無線LANについて安定した通信が出来るよう検討・調整する。						
成果指標	指標名	リモート会議実施件数			行革連動	単位	件
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	270	300	330	360	390	
	実績	536					

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】

行政内部の情報化の加速

実施項目	(6) 庁内ネットワークの無線化						
担当部署	行政経営グループ						
取組内容	多様なワークスタイルの創出やペーパーレス会議などの取組を推進するため、庁内ネットワークの無線化を進めます。						
実施年度	令和3年度～	実施区分	実施中				
実施状況【R3】	本庁舎、第二庁舎、アーニス、クリンクルセンター、総合福祉センター、給食センター、各支所において、LGWAN回線の無線化を行った。						
今後の取組【R4～】	令和4年度に新設される情報発信拠点の支所内において、LGWAN回線の無線化を行う。 また、令和6年度新設予定の消防新庁舎や東支署の無線化の検討を行う。						
成果指標	指標名	無線LANアクセスポイント接続数 (庁内ネットワーク)			行革連動	単位	件
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	47,500	50,000	50,000	50,000	50,000	
	実績	39,370					

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】

行政内部の情報化の加速

実施項目	(7) 職員のテレワーク環境の整備及びモバイルワークの検討						
担当部署	人事グループ、行政経営グループ						
取組内容	セキュリティ面を十分配慮し、自宅から庁内のパソコンに接続ができるようテレワークシステムを導入し、環境を整備します。また、外出勤務時においても、職員に貸与しているスマートフォンを活用し、庁内ネットワークにアクセスすることで、業務が遂行できるモバイルワークの導入に向けて検討を進めます。						
実施年度	令和3年度～	実施区分		実施中			
実施状況【R3】	地方公共団体情報システム機構が提供するテレワークシステムを活用し、技術的な実証利用を継続している。 電子決裁の導入や押印の省略、内線電話のスマートフォン化などにより、テレワークによる業務水準が向上している。						
今後の取組【R4～】	継続してテレワークシステムの技術実証を継続する。 地方公共団体情報システム機構が提供するテレワークシステムも試行であるため、テレワーク環境の継続のために、さまざまな手法を検討している。						
成果指標	指標名	テレワーク利用者数 (延べ人数)			行革連動	単位	人
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	500	600	700	800	1,000	
	実績	958					

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】

行政内部の情報化の加速

実施項目	(8) チャットツールの整備						
担当部署	行政経営グループ						
取組内容	庁内における意思決定の新たな会議のあり方や情報共有の効率化を実現するため、行政専用のネットワーク回線（L GWAN）とインターネットの両方の環境から利用可能なクラウド型チャットツールを導入します。						
実施年度	令和4年度～			実施区分	実施中		
実施状況【R3】	行政専用のネットワーク回線（L GWAN）とインターネットの両方の環境から利用可能なクラウド型チャットツールのトライアルを実施し、導入に向けたツールの選定を行った。						
今後の取組【R4～】	希望するグループを対象にアカウントを配布し、導入効果の検証と情報共有の効率化を平行して進める。						
成果指標	指標名	チャットアカウント導入数			行革連動	単位	個
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	-	50	100	150	200	
	実績	-					

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】

行政内部の情報化の加速

実施項目	(9) 自治体情報システムの標準化・共通化						
担当部署	行政経営グループ						
取組内容	地方公共団体情報システムの標準化に関する法律が制定されたことにより、令和7年度までに、自治体が標準化基準に適合した情報システムに移行することが求められていることから、既存の情報システムの改修を行います。						
実施年度	令和7年度～	実施区分	検討				
実施状況【R3】	標準化について、国において標準仕様書が確定しない段階であり、西いぶり広域連合及びシステムベンダとスケジュール感を確認など、できる範囲で情報収集に努めるとともに、国に対し意見の提出を行った。						
今後の取組【R4～】	標準化に向け、各仕様書がまとまりつつあり、各担当課への対応に係る周知を行うとともに、標準化に伴う課題等について検討を促した。						
成果指標	指標名	標準化・共通化導入業務数			行革連動	単位	個
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	-	-	-	-	20	
	実績	-					

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】

行政内部の情報化の加速

実施項目	(10) EBPM導入の検討					
担当部署	行政経営グループ					
取組内容	市が保有する多様なデータを活用し、そのデータの分析を行うことで、客観的な証拠に基づいた政策や施策の企画・立案が行われるEBPM (Evidence Based Policy Making) の導入を検討します。					
実施年度	令和5年度～	実施区分	検討			
実施状況【R3】	統計データのあり方について検討するとともに、その活用について、どのような手法が望ましいのか情報収集を行った。					
今後の取組【R4～】	各種アンケートデータを集約し、他グループにおいても活用が可能となるような手法を検討した。 各種計画や各種アンケートを、多くのグループが利活用することで、エビデンスに基づく意思決定の基礎的な形を模索したい。					
成果指標	指標名	-		行革連動	単位	-
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	目標	-	-	-	-	-
	実績	-				

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】

行政内部の情報化の加速

実施項目	(11) セキュリティの確保						
担当部署	行政経営グループ						
取組内容	市民サービスに必要な各機器及びシステムについて、障害が起こることなく、安定した稼働を行うとともに、国におけるガイドライン等の見直しなどを踏まえ、セキュリティポリシーの見直しを適切に行います。						
実施年度	令和3年度～	実施区分		実施中			
実施状況【R3】	既存の仕組みを十分に活用し、情報漏洩など発生しないよう適切に運用した。 また、新規採用職員を対象にセキュリティ研修を実施するなど、人材育成にも努めた。						
今後の取組【R4～】	引き続き人材育成に努めるほか、現行のセキュリティポリシーが、現状の運用や社会情勢に適合しているかなど検証し、運用の確認や見直しを行う。						
成果指標	指標名	庁内ネットワークに係る重大障害件数			行革連動	単位	件
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	0	0	0	0	0	
	実績	0					

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】

行政内部の情報化の加速

実施項目	(12) クラウド利用の促進						
担当部署	行政経営グループ						
取組内容	国が進めているクラウドバイデフォルトの考えに基づき、市において、今後の庁内システムの構築や整備にあたっては、クラウドサービスの利用を優先的に検討し、情報システムの運用コスト削減をはじめ、情報セキュリティ水準の向上、災害時の業務停止リスクの低減を図ります。						
実施年度	令和4年度～	実施区分	実施中				
実施状況【R3】	国はクラウドバイデフォルトを掲げ、急速にクラウド利用を進めているが、地方自治体においては三層分離が推奨され、自席のPCからのインターと利用が困難である。 公用スマホによるクラウド利用やLGWAN-ASPを介したクラウド利用など、できるところからではあるが、セキュリティに十分配慮しながら積極的に活用する。						
今後の取組【R4～】	令和3年度と同様の対応ではあるが、三層分離の見直しの中で、より効率的で効果的なクラウド利用となるよう、ネットワーク構成の見直しに着手する。						
成果指標	指標名	市内ネットワークに係る重大障害件数			行革連動	単位	件
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	-	0	0	0	0	
	実績	-					

DX推進計画 実施状況確認シート

【基本方針Ⅲ】

行政内部の情報化の加速

実施項目	(13) デジタル人材の確保						
担当部署	行政経営グループ						
取組内容	デジタル技術を活用し効率的な業務を行うことができる職員を育成するため、考え方や技術を学習する研修会を開催します。						
実施年度	令和3年度～	実施区分		実施中			
実施状況【R3】	民間企業に依頼し、若手職員を対象としたDX研修を実施し、業務改善意識の向上を図り、また、職場内における改善点の洗い出しを行った。						
今後の取組【R4～】	令和3年に続き、業務改善意識の向上や改善点の洗い出しを目指し、職員研修を実施する。 また、専門人材の任用に向け検討を行う。						
成果指標	指標名	研修会回数			行革連動	単位	回
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標	2	2	2	2	2	
	実績	2					